

平成26年度決算審査講評に対する対応調書

No.	講評要旨	措置状況(関係課の対応)	関係課
1	北陸新幹線の金沢延伸による広域交通のネットワークが形成されたことにより、各市町村や事業者と連携することで、それぞれの地域にある資源を活かし、広域観光地としての魅力を高めることを期待したい。	本年3月に北陸新幹線が金沢まで延伸したことで、北陸地方からの人の流れが大きく変わろうとしています。こうしたことから、沿線地域にあるそれぞれの観光資源の魅力をいっそう磨き上げながら、点から面に、面から周遊するためのストーリーをつくりながら効果的な情報発信することで、これまで以上に北陸地方からの交流人口の拡大に努めてまいります。	事務局 庶務課
2	介護認定審査会・障害支援区分認定審査会では、地域住民の皆さんが介護サービスを利用するための入り口であり、公正、公平かつ適正に判定していただくことが非常に重要となります。関係市町村との一層の連携を図り、運営に努められたい。	認定制度の入り口であることを十分理解し、公平かつ公正な運営が行えるように市町村との連携に努めてまいります。	事務局 福祉課
3	成年後見支援センター・障害者相談支援センターでは、広くその利用について周知をしていく必要があります。関係機関等との一層の連携を図り、利用者への支援、福祉サービスを効果的に利用できるよう努められたい。	各地域の福祉イベントにおけるブース出展(パネル展示・ミニ相談会)や地域住民が集まる場を積極的に活用し出前講座を実施します。 また、わかりやすく制度の情報をお伝えできるように身近な事例を紹介しながら、広報啓発を図ってまいります。	成年後見支援センター
		関係機関等と連携を図り、障害福祉サービスの利用支援や調整等を行うとともに、権利擁護のために必要な援助を行い、障害をお持ちの方の自立と社会参加の促進に努めてまいります。併せて3障害に対応できる相談窓口として、広く周知を図ってまいります。	障害者相談支援センター
4	消防救急無線デジタル化に伴う通信指令体制の強化、消防署の整備、高規格救急自動車の更新、その他消火・救急体制の強化が図られている。今後とも財政計画のもと更新年月を迎えている車両・装備品については適切な更新計画により資機材の充実に努め、地域住民の生命財産を守るべく消防の使命を十分発揮できるよう努められたい。	今後も消防力の向上を図り、地域住民の皆様がより安全に暮らせるよう、車輛、装備品について、各検討委員会を通じて計画的に更新し、資機材の充実と円滑な運用ができるよう努めてまいります。	消防署

平成26年度決算審査講評に対する対応調書

No.	講評要旨	措置状況(関係課の対応)	関係課
5	緊急業務が多いことから、特別休暇等取りにくい勤務状態になっている。健康管理面からも休暇が取れる環境づくりに努められたい。	消防業務に支障がないよう、また、職員個々の健康管理のためにも、消防本部、各署において、計画的に年次休暇等が取得できる職場環境づくりに努めてまいります。	消防本部 消防署
6	今後、救急救命士の有資格者の退職者が見込まれる中、計画的な確保に努められたい。	救急救命士の在職状況を把握し、有資格者が不足しないよう、人事採用や救急救命士の養成を計画的に行うよう努めてまいります。	消防本部 消防署
7	佐久地域に外国人が多くなってきていることから、搬送時、症状などを正確に確認できるよう言語の対応について、より一層の取組みをされたい。	外国人観光客らの救急要請等に係る多言語対応として、既存の「外国語救急時情報収集シート」などを活用するとともに、通信指令員により、通報者に対して「近くに日本語の話せる方はいますか。いる場合は電話口をお願いします。」という複数言語対応の自動音声を用いて、より正確に通報内容を確認できるよう努めてまいります。	消防本部 消防署
8	消防車両等の移動の際は、誘導者との連携の徹底を図り、事故のないよう努められたい。	消防車両等の移動の際には、誘導者との連携を図り、周囲の状況確認を徹底し、また、車両や装備品の取り扱いについても、日ごろの訓練を重ね、事故を起こさないよう努めてまいります。	消防本部 消防署
9	運営にあたっては利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ち、利用者一人ひとりに満足いただけるサービスの提供に努められたい。	利用者とのコミュニケーションを図って信頼関係を築くとともに、利用者の小さなサインも気づき、気持ちに寄り添った思いやりのある優しい介護を行うことを目標とし、利用者に満足いただけるサービスの提供に努めてまいります。	社会福祉施設

平成26年度決算審査講評に対する対応調書

No.	講評要旨	措置状況(関係課の対応)	関係課
10	入所者の現金等の取り扱いについては、十分注意していただくと共に、管理方法について各施設統一した方法を検討された。	利用者の預り金等については、今後も取扱要領を遵守し、適切な取り扱いを行ってまいります。なお、管理方法につきましては、各施設の実情を踏まえつつ、統一に向けての検討してまいります。	社会福祉施設
11	食肉流通センターの運営は、一般会計からの繰入金に頼らざるを得ない苦しい経営状況ではありますが、年間を通して安定的な荷受量の確保に努められたい。	主要荷受人と協議しながら、安定的な荷受量の確保に努めてまいります。	食肉流通センター